



2017年2月10日

各位

会社名 日清紡ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 河田 正也  
(コード：3105、東証・名証各第一部、札証、福証)

## 紙製品事業の譲渡に伴う会社分割（簡易吸収分割） 及び子会社株式の譲渡に関するお知らせ

当社は、本日（2017年2月10日）の取締役会において、当社の連結子会社である日清紡ペーパープロダクツ株式会社（以下「日清紡ペーパー プロダクツ」又は「対象会社」といいます。）等において営む紙製品事業を、大王製紙株式会社（以下「大王製紙」といいます。）に譲渡すること（以下「本件取引」といいます。）を決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

本件取引は、日清紡ペーパー プロダクツに対して、当社が紙製品事業に関して有する資産等（当社が有する紙製品事業に関する不動産その他の設備及び知的財産権等の資産、並びに紙製品事業を営む子会社の株式等を含みます。）を会社分割（吸収分割）の方法（以下「本件会社分割」といいます。）により承継させたいと、日清紡ペーパー プロダクツの発行済株式の全部を大王製紙に譲渡する方法（以下「本件株式譲渡」といいます。）で行うことを予定しています。

なお、本件会社分割は、当社の完全子会社との間の簡易・略式吸収分割であるため、本件会社分割に関する事項については開示事項・内容を一部省略して開示しています。

### I. 本件取引の目的

当社グループは、環境破壊や地球温暖化など人間社会が直面する課題にソリューションを提供し、安全で安心な暮らしに貢献する「環境エネルギーカンパニー」グループとして、多彩な事業を展開しています。多様性の中での団結により成長戦略を遂行する中、今後は先ず、オートモーティブおよび超スマート社会関連ビジネスに経営資源を重点的に配分する方針です。

当社グループの紙製品事業は70年の歴史を有し、家庭紙、洋紙、紙加工品の3事業で特長ある高付加価値品を市場に提供しています。プレミアムティッシュ「コットンフィール」や「シャワートイレのためにつくった吸水力が2倍のトイレトペーパー」、ファインペーパー「ヴァンヌーボ」シリーズなど競争優位な商品が市場で高い評価を得ています。しかし、年間売上高は300億円と小規模レベルに止まっており、市場が成熟化し寡占化が進む紙製品業界にあって、ニッチ市場の深耕による成長が難しい状況となっています。

こうした中、大王製紙から当社に対して、対象事業を譲り受けたいとの申し入れがあり、当社グループの成長戦略、当社グループ内での対象事業の発展性および大王製紙の評価などを総合的に検討し、協議・交渉を進めてきました。その結果、紙製品事業を主業とし国内市場で圧倒的な競争力を持つ大王製紙へ譲渡することが、当社ペーパープロダクツグループの発展に繋がり、お客様、お取引先様の満足向上、従事する従業員処遇の安定向上に資すると判断しました。

そして、当社は、本件取引のため、本件会社分割により、対象会社に対して、当社が有する紙製品事業に関する不動産その他の設備、知的財産権等の資産、従業員との雇用契約、並びに日清紡が

スタルケミカル株式会社の株式及び上海日豊工芸品有限公司の出資持分等の権利義務を承継させたうえで、大王製紙に対し、対象会社の発行済株式の全部を譲渡することをあわせて決定しました。

本件取引後、日清紡ペーパー プロダクツ、東海製紙工業株式会社、大和紙工株式会社、日清紡ポスタルケミカル株式会社、上海日豊工芸品有限公司の5社は当社子会社ではなくなりますが、当社は、エレクトロニクス事業とブレーキ事業を中心に、オートモーティブ及び超スマート社会関連ビジネスへの経営資源の重点配分をさらに推進し、成長戦略を一層加速することにより、当社グループの企業価値の向上を図ります。

なお、本件取引の実行は、公正取引委員会の企業結合審査の完了が前提となります。

## II. 本件会社分割の概要

### 1. 本件会社分割の要旨

#### (1) 本件会社分割の日程

- |                           |                |
|---------------------------|----------------|
| ① 吸収分割契約承認の取締役会（当社及び対象会社） | 2017年2月10日     |
| ② 吸収分割契約締結日               | 2017年2月10日（予定） |
| ③ 吸収分割の実施日（効力発生日）         | 2017年4月3日（予定）  |

（注）本件会社分割は、当社において会社法第784条第2項に定める簡易吸収分割及び対象会社において会社法第796条第1項本文に定める略式吸収分割に該当するため、吸収分割の承認に関する当社及び対象会社の株主総会は開催しません。

#### (2) 本件会社分割の方式

当社を分割会社とし、対象会社を承継会社とする吸収分割（簡易・略式吸収分割）です。

#### (3) 本件会社分割にかかる割当ての内容

本件会社分割は、当社が当社の完全子会社との間で行うものであるため、対象会社から株式の割当、金銭その他の財産の交付を行いません。

#### (4) 本件会社分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社の発行する新株予約権に変更はありません。また、当社は新株予約権付社債を発行していません。

#### (5) 本件会社分割により増減する資本金

当社の資本金の増減はありません。

#### (6) 承継会社が承継する権利義務

承継会社は、本件会社分割の効力発生日において、別途吸収分割契約に定める紙製品事業に係る資産、従業員との雇用契約、並びに日清紡ポスタルケミカル株式会社の株式及び上海日豊工芸品有限公司の出資持分等の権利義務を承継します。

#### (7) 債務履行の見込み

対象会社が、本件会社分割の効力発生日以降における負担すべき債務について、履行の見込みの問題はないものと判断しています。

## 2. 会社分割の当事会社の概要（2016年3月31日現在）

	分割会社（当社）	承継会社（対象会社）
(1) 名称	日清紡ホールディングス株式会社	日清紡ペーパー プロダクツ株式会社
(2) 所在地	東京都中央区日本橋人形町二丁目31番11号	東京都中央区日本橋人形町二丁目31番11号
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 河田正也	取締役社長 吉野明宏
(4) 事業内容	エレクトロニクス製品、ブレーキ製品、精密機器、化学品、繊維製品、紙製品等の製造及び販売等、並びに不動産の売買及び賃貸借等	家庭紙、洋紙、紙加工製品等の製造及び販売等
(5) 資本金	27,587百万円	5,000百万円
(6) 設立年月日	1907年2月5日	2009年4月1日
(7) 発行済株式数	178,798,939株	5,000株
(8) 決算期	3月31日	3月31日
(9) 大株主及び持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 12.71% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 11.46% 富国生命保険相互会社 6.71% 帝人株式会社 3.37% 資産管理サービス信託銀行株式会社 2.90% 四国化成工業株式会社 1.45% 株式会社みずほ銀行 1.29% 日本毛織株式会社 1.28% ゴールドマン・サックス証券株式会社 1.18% BNPパリバ証券株式会社 1.14%	日清紡ホールディングス株式会社 100.00%
(10) 直近事業年度の財政状態及び経営成績（2016年3月期）		
	分割会社（当社）〔連結〕	承継会社（対象会社）〔個別〕
純資産	284,471百万円	9,992百万円
総資産	651,793百万円	14,719百万円
1株当たり純資産	1,472.26円	1,998,486円
売上高	533,989百万円	26,082百万円
営業利益	12,617百万円	1,020百万円
経常利益	17,034百万円	1,040百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	10,775百万円	632百万円
1株当たり当期純利益	67.93円	126,352円

（注）大株主及び持株比率は、2016年9月末日の最終の株主名簿に基づくものです。

当社は自己株式 20,035,600株(11.21%)を保有していますが、上記大株主からは除いています。

## 3. 分割する事業部門の概要

### (1) 分割する部門の事業内容

ティッシュ、トイレットペーパー等の家庭紙製品、ファインペーパー、合成紙などの洋紙製品、及び紙器、ラベルなどの紙加工製品の製造、販売等を営む当社グループの紙製品事業

(2) 分割する部門の経営成績及び資産（2016年3月期）

	紙製品事業部門 (a)	当社連結合計 (b)	比率 (a/b)
セグメント売上高	32,584 百万円	533,989 百万円	6.1%
セグメント利益	742 百万円	16,695 百万円	4.4%
セグメント資産	22,975 百万円	622,009 百万円	3.7%

(注) 本件取引の対象となる当社グループにおける紙製品事業に係る金額を記載しています。

4. 本件会社分割後の状況

当社及び対象会社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期いずれも本件会社分割による影響はありません。

III. 本件株式譲渡の概要

1. 譲渡する会社の概要

前記「II.本件会社分割の概要」における「2.会社分割の当事会社の概要」の「承継会社」欄に記載の通りです。

2. 本件株式譲渡の相手先の概要（2016年3月31日現在）

(1) 名 称	大王製紙株式会社	
(2) 所 在 地	愛媛県四国中央市三島紙屋町2番60号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 佐光 正義	
(4) 事 業 内 容	紙・板紙・パルプ及びその副産物等の製造加工並びに販売	
(5) 資 本 金	39,707 百万円	
(6) 設 立 年 月 日	1943年5月5日	
(7) 連 結 純 資 産	174,820 百万円 (2016年3月期)	
(8) 連 結 総 資 産	656,310 百万円 (2016年3月期)	
(9) 大株主及び持株比率	北越紀州製紙株式会社	21.23%
	株式会社伊予銀行	4.74%
	株式会社愛媛銀行	4.63%
	大王海運株式会社	3.64%
	愛媛製紙株式会社	3.57%
	井川高雄	3.35%
	カミ商事株式会社	3.15%
	農林中央金庫	2.75%
	特種東海製紙株式会社	2.59%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2.37%
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(注) 大株主及び持株比率は、2016年9月末日の最終の株主名簿に基づくものです。

3. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	普通株式 5,000 株 (議決権の数：5,000 個) (議決権所有割合：100%)
(2) 譲渡株式数	普通株式 5,000 株 (議決権の数：5,000 個)
(3) 譲渡価額	約 25,000 百万円
(4) 異動後の所有株式数	普通株式 0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0%)

4. 本件株式譲渡の日程

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| ① 株式譲渡契約承認の取締役会（対象会社） | 2017年2月10日     |
| ② 株式譲渡契約締結日           | 2017年2月10日（予定） |
| ③ 株式譲渡実行日             | 2017年4月3日（予定）  |

IV. 今後の見通し

本件取引の実行により、来期（2018年3月期）に特別利益を計上する見込みです。この額を含め、本件取引の当社グループの業績に与える影響は、現在精査中であり、確定次第速やかに開示します。

以上

[本件に関するお問合せ先]

日清紡ホールディングス株式会社      IR 広報グループ  
電話番号      03-5695-8854